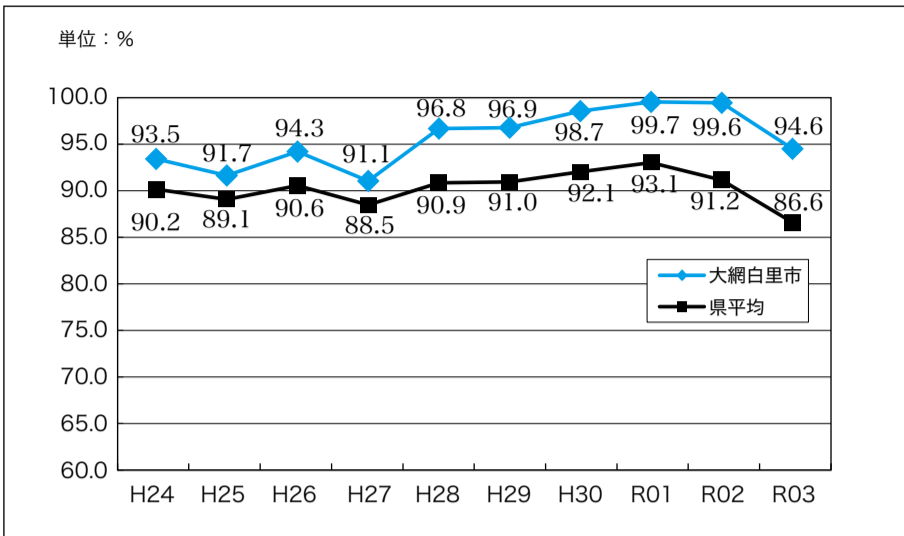


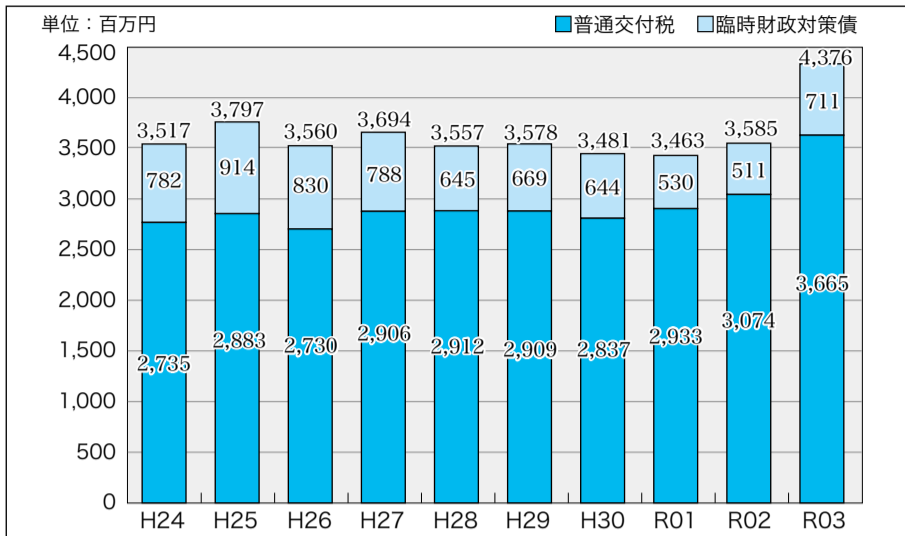
◆経常収支比率の推移（普通会計）◆

経常収支比率とは、毎年固定的に支出される経費に充てられた一般財源の割合を示す指標で、この比率が高いほど財政運営上の自由度が低くなるといわれています。令和3年度は地方交付税や地方消費税交付金の増加に伴い、経常収支比率が5.0ポイント減少し、94.6%となりました。



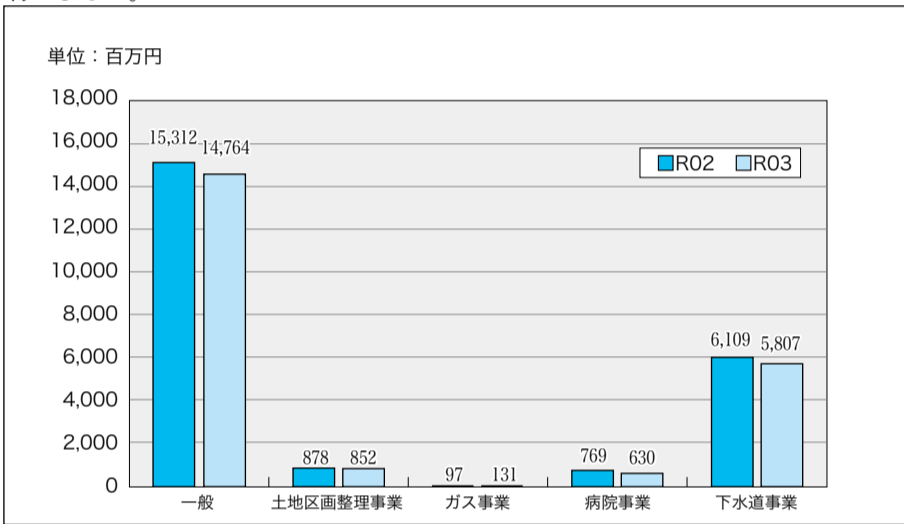
◆普通交付税等の推移◆

令和3年度の普通交付税は、臨時財政対策債（制度上、普通交付税の一部を市債に振り替えたもの）を加えた実質的な額で、約43億7千6百万円となり、普通交付税は約5億9千1百万円の増額、臨時財政対策債は約2億円の増額となりました。



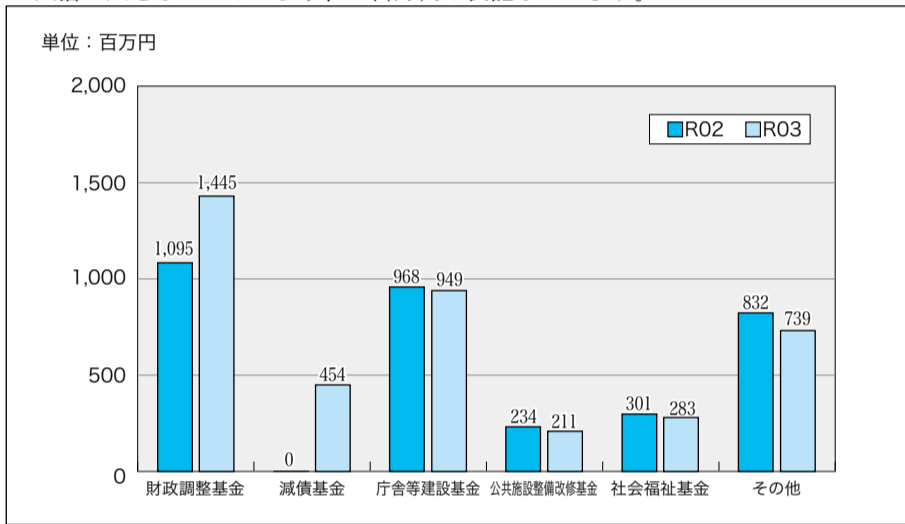
◆借入金残高の状況（全会計）◆

令和3年度末の借入金残高は、全会計合計で約22.2億円となり、前年度と比べ、約10億円の減額となりました。令和3年度は、臨時財政対策債の発行により、財源不足を補ったほか、河川の改修や道路の舗装補修等を実施するため、借入を行いました。



◆基金現在高の状況（全会計）◆

令和3年度末の基金現在高は、約40億8千1百万円です。令和2年度末と比較すると、合計で約6億5千1百万円の増額となりました。※令和2年度末の減債基金残高は、25万3,358円ですが、表示単位に合わせて四捨五入をしたことにより、0百万円と表記しています。



◆令和4年度一般会計・特別会計上半期収支状況◆

会計名	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率	
一般会計	16,833,250	7,968,184	47.3	6,921,282	41.1	
特別会計	国民健康保険	5,485,158	2,269,925	41.4	2,047,801	37.3
	後期高齢者医療	714,366	243,600	34.1	144,794	20.3
	介護保険	4,747,657	2,002,204	42.2	1,772,794	37.3
	介護サービス事業	27,029	11,032	40.8	10,965	40.6
	土地区画整理事業	193,042	45,060	23.3	48,060	24.9

※予算現額は、繰越分を含む9月補正後の予算額です。

◆令和4年度公営企業の状況(8月31日現在)◆

◎ガス事業

区分	令和4年度	令和3年度
調定戸数	61,140戸	60,654戸
販売量	2,639,635㎡	2,492,333㎡
平均使用量	43.2㎡	41.1㎡
平均売上額	3,950円	3,816円

科目	予算現額(千円)	執行額(千円)	執行率(%)
ガス事業収益	784,846	265,733	33.9
ガス事業費用	780,540	176,936	22.7

◎病院事業

区分	令和4年度	令和3年度
入院患者数	9,113人	10,734人
1日平均患者数	59.6人	70.2人
外来患者数	28,149人	27,791人
1日平均患者数	273.3人	272.5人

科目	予算現額(千円)	執行額(千円)	執行率(%)
病院事業収益	2,685,437	1,129,752	42.1
病院事業費用	2,671,787	921,803	34.5

◎下水道事業

区分	令和4年度	令和3年度
調定件数	34,105件	33,733件
汚水量	1,168,270㎡	1,191,276㎡
平均調定額	6,867円	6,345円

科目	予算現額(千円)	執行額(千円)	執行率(%)
下水道事業収益	1,697,611	498,510	29.4
下水道事業費用	1,644,645	146,397	8.9

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、令和3年度決算に基づく「健全化判断比率」を算定したところ、いずれの指標においても早期健全化基準を下回る数値となりました。
 (1) 実質赤字比率…一般会計等の実質赤字の標準財政規模※に対する比率
 (2) 連結実質赤字比率…全ての会計の実質赤字の標準財政規模に対する比率
 (3) 実質公債費比率…公債費及び公債費に準じた経費の標準財政規模に対する比率
 (4) 将来負担比率…一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
 ※標準財政規模…地方公共団体が通常収入されるであろう経常的一般財源の規模を表すもの。
 また、公営企業会計における「資金不足比率」を算定したところ、資金不足の発生した公営企業はありませんでした。

◆令和3年度決算に基づく健全化判断比率◆

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	
大網白里市比率	-(-)	-(-)	8.9%(8.6%)	60.4%(79.0%)	
参考	早期健全化基準	13.23%	18.23%	25.0%	350.0%
	財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	-

・実質赤字額、連結実質赤字額は発生していないため、「-」と記載
 ・()内は前年度数値

◆令和3年度決算に基づく資金不足比率◆

会計名	資金不足比率	経営健全化基準	備考
ガス事業会計	-(-)	20.0%	剰余額 363,119千円
病院事業会計	-(-)	20.0%	剰余額 412,808千円
下水道事業会計	-(-)	20.0%	剰余額 91,928千円

・資金不足額は発生していないため、「-」と記載
 ・()内は前年度数値

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$